記者発表資料

令 和 6 年 4 月 2 4 日
国土交通省東北地方整備局

平年より３週間程度早く雪解け
ー今後の水利用に備えていますー

東北地方の今年の冬は、記録的な少雪となっており、平年よりも早く日最深積雪がゼロになっています。

東北地方整備局で管轄する 18 の管理ダムのうち 17 ダムにおいては、かんがい用水や上水道等への安定供給を行うため、例年より少ない雪解け水を工夫して貯め込んでいるところであり、今後の水利用への影響が最小限になるよう取り組んでいます。

なお、東北地方整備局では令和 6 年 3 月 14 日に渇水対策本部（注意体制）を設置しています。

1．東北地方の積雪状況（別紙 1 参照）※出典：気象庁 HP より

○日最深積雪がゼロになった日は、ほとんどの地点で平年より３週間程度早くなっている

2．東北地方の直轄管理ダム貯水率（別紙 2 参照）

○例年より融雪が早く終わることを考慮し、かんがい期前にダムが満杯になるよう運用中

○利水関係者の協力を得ながら、例年よりも早くダムへ貯留し、利水補給に備えている

○かんがい用水を供給する 17 ダムの内、既に 12 ダムで概ね満杯となっている

※貯水率については、1 週間毎に更新します（HP で確認可能）
https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00037/k00290/river-hp/kasen/damu/chosuiritsu.pdf

3．少雪に伴う水利用への対応（別紙 3 参照）

○春先の水利用を融雪に多く依存する２地区において、農業用水が不足するおそれがあるため、渇水情報連絡会において情報共有を図りながら水利用の変更対応を行っている

4．向こう３か月の天候の見通し（別紙 4 参照）※出典：気象庁 HP より

○向こう３か月（５月～７月）の天候の見通しは、気温は高く、降水量はほぼ平年並の見込み

【参考】

・令和 6 年 3 月 12 日記者発表「今冬の少雪傾向を踏まえ渇水対策本部(注意体制)を設置します」
https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/kisya/kisyah/images/98404_1.pdf

・令和 5 年度 東北管内における渇水対応について
https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00037/k00290/river-hp/kasen/damu/touhokukassuitaiou.pdf

＜発表記者会＞ 青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、
秋田県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、
東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

[本件に対するお問い合わせ先]
国土交通省 東北地方整備局 河川部 河川環境課
課 長 大平（おおだいら） 知秀（ともひで）（内線３６５１）
課長補佐 菊地（きくち） 純（じゅん）（内線３６５６）
仙台市青葉区本町３－３－１ 仙台合同庁舎 B 棟
TEL 022-225-2171（代） FAX 022-215-3754

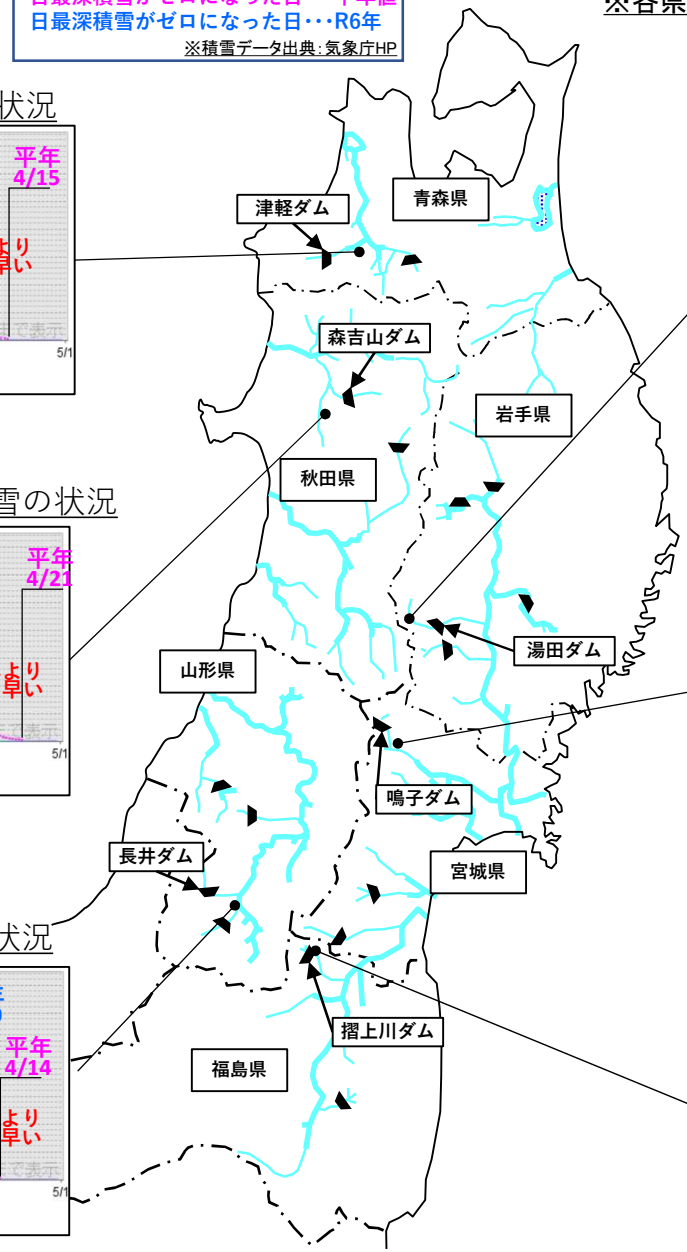
１．東北地方の積雪状況

別紙１

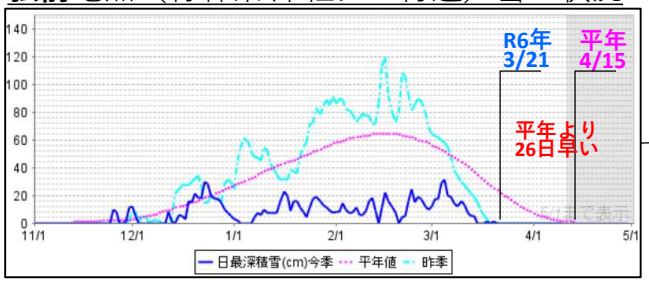
➢ 日最深積雪がゼロになった日は、ほとんどの地点で平年より3週間程度早くなっている

日最深積雪がゼロになった日･･･平年値
日最深積雪がゼロになった日･･･R6年
※積雪データ出典：気象庁HP

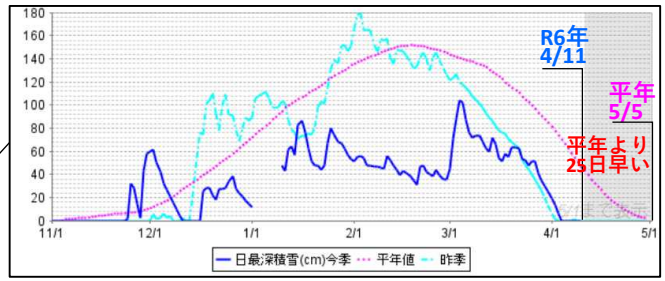
※各県１地点　ダム付近の気象庁HP積雪グラフにコメント記載



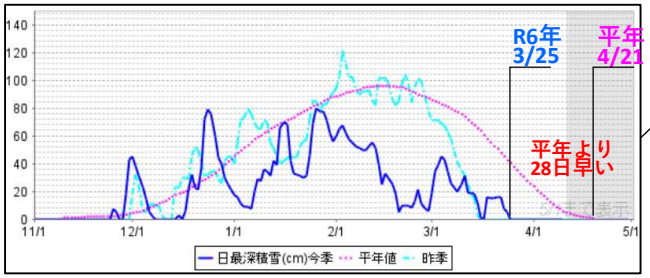
弘前地点（青森県 津軽ダム付近）雪の状況



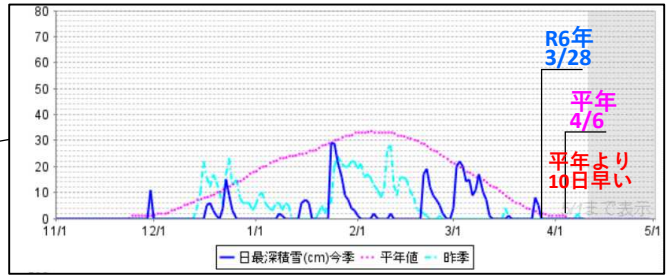
湯田地点（岩手県 湯田ダム付近）雪の状況



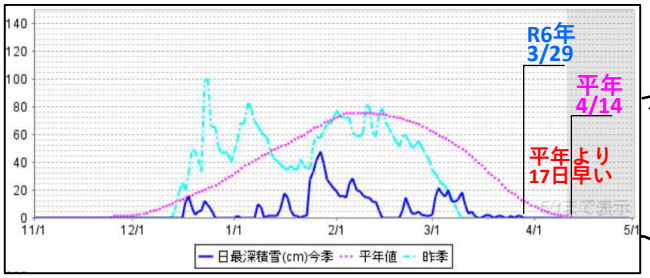
阿仁合地点（秋田県 森吉山ダム付近）雪の状況



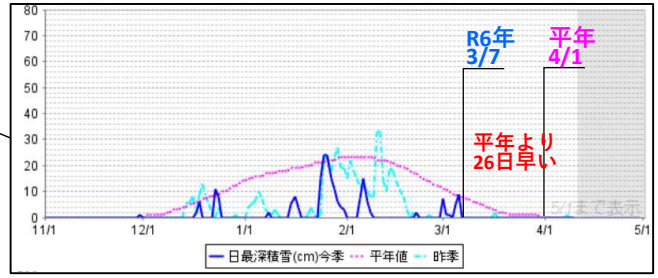
川渡地点（宮城県 鳴子ダム付近）雪の状況



長井地点（山形県 長井ダム付近）雪の状況



茂庭地点（福島県 摺上川ダム付近）雪の状況

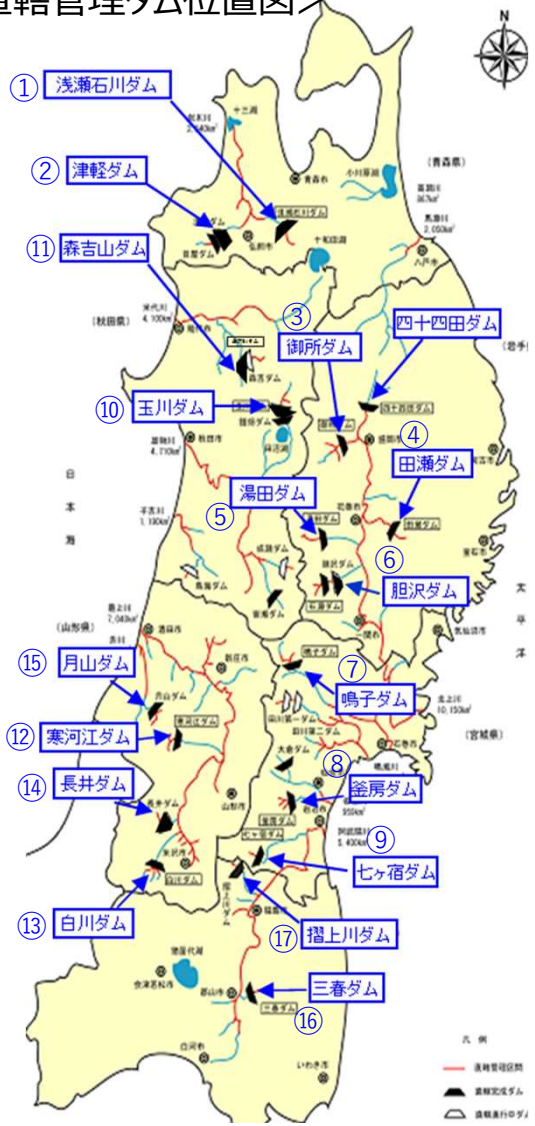


2．東北地方の直轄管理ダム貯水率

別紙２

- 直轄管理ダムでは、例年より融雪が早く終わることを考慮し、かんがい期前にダムが満杯になるよう運用中。
- 利水関係者の協力を得ながら、例年よりも早くダムへ貯留し、利水供給に備えている。（次頁参照：別紙2-1直轄管理ダムの貯水位運用の工夫について）
- かんがい用水を供給する17ダムの内、既に12ダムで概ね満杯となっている。

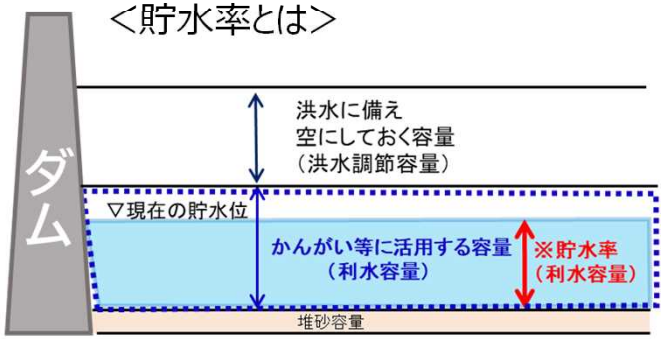
＜直轄管理ダム位置図＞



＜直轄管理ダムの貯水率＞
（令和6年4月23日現在）

NO.	ダム名	貯水率(%)	位置
①	浅瀬石川ダム	96	青森県黒石市
②	津軽ダム	100	青森県中津軽郡西目屋村
③	御所ダム	84	岩手県盛岡市
④	田瀬ダム	※1 －	岩手県花巻市
⑤	湯田ダム	68	岩手県和賀郡西和賀町
⑥	胆沢ダム	100	岩手県奥州市
⑦	鳴子ダム	100	宮城県大崎市
⑧	釜房ダム	93	宮城県柴田郡川崎町
⑨	七ヶ宿ダム	99	宮城県刈田郡七ヶ宿町
⑩	玉川ダム	92	秋田県仙北市
⑪	森吉山ダム	100	秋田県北秋田市
⑫	寒河江ダム	68	山形県西村山郡西川町
⑬	白川ダム	87	山形県西置賜郡飯豊町
⑭	長井ダム	100	山形県長井市
⑮	月山ダム	100	山形県鶴岡市
⑯	三春ダム	100	福島県田村郡三春町
⑰	摺上川ダム	100	福島県福島市
	四十四田ダム	※2 84	岩手県盛岡市

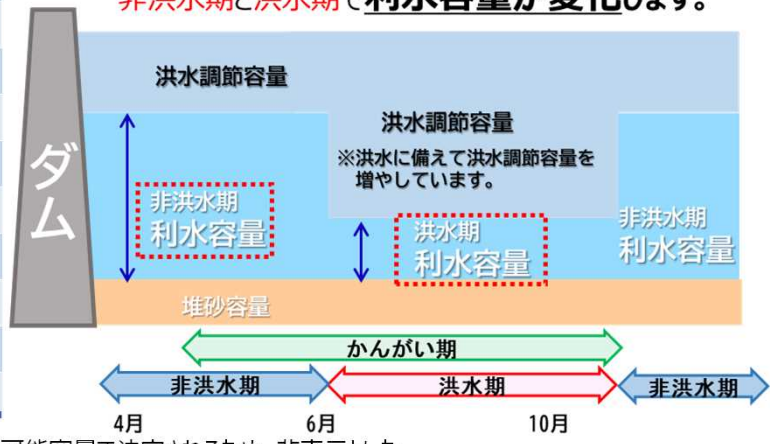
＜貯水率とは＞



※貯水率とは
貯水率(%)＝貯水量(現在)／利水容量
貯水率100(%)で満杯

＜期間に応じて利水容量が変わる＞

非洪水期と洪水期で**利水容量が変化**します。



※1　田瀬ダムの非洪水期の利水容量は、発電の使用可能容量で決定されるため、非表示とした。
※2　四十四田ダムはかんがい用水補給なし。

直轄管理ダムの貯水率情報は、定期的に更新されます。なお、リアルタイム情報は以下を参照下さい。
東北リアルタイムダム情報（川の防災情報より）
https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00037/k00290/river-hp/kasen/damu/touhokurealtimedamu.pdf

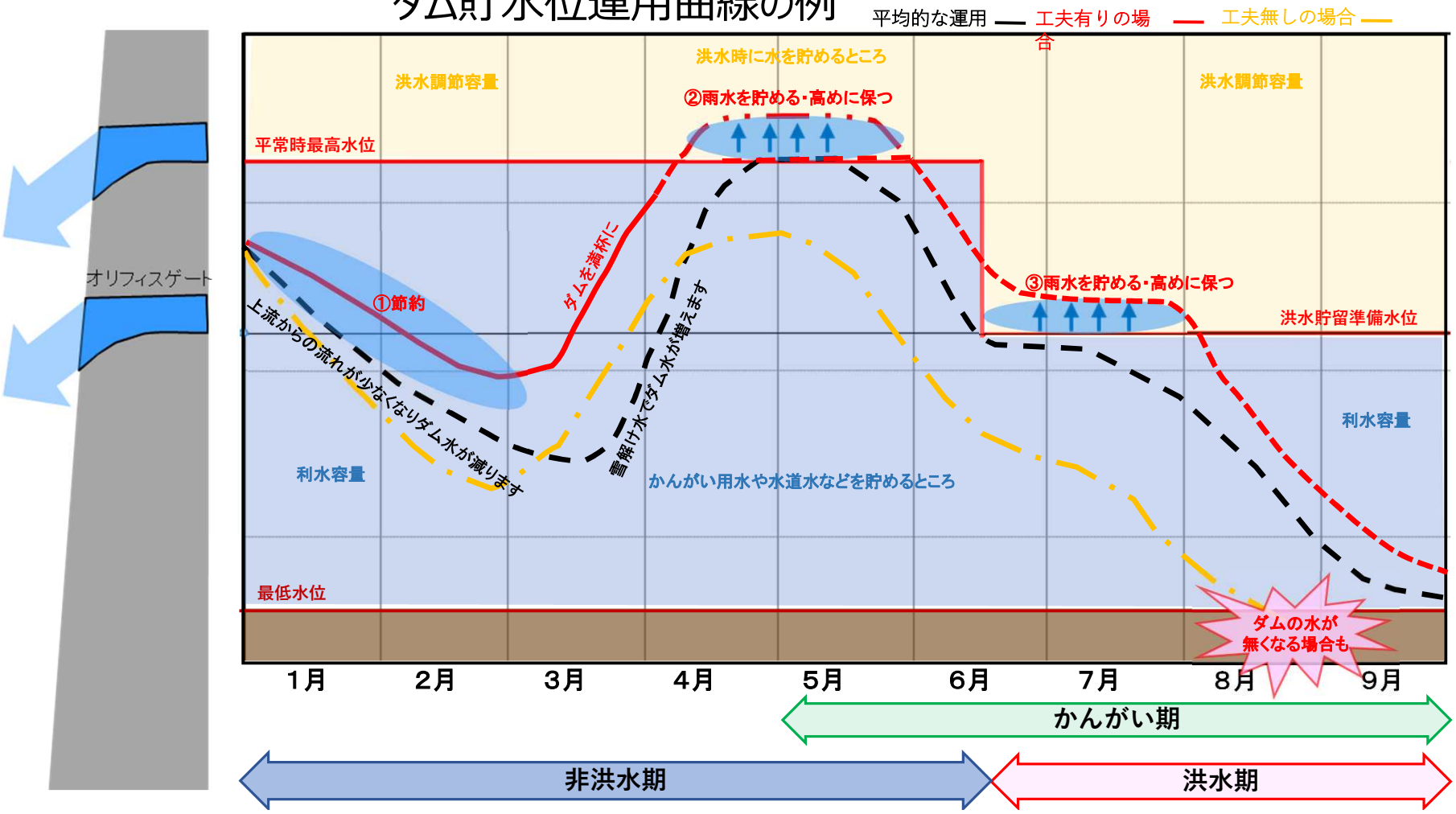
○直轄管理ダムの貯水位運用の工夫について

別紙２－１

かんがい用水や上水道に安定供給を行うため、例年より少ない雪解け水を想定した工夫を実施。

① 例年より雪解け水が少ないため、冬期の水の使用量を節約し、ダムを満杯にする。
② 雪解けが早く終わるため、ダムで貯め込んだ水が減らないよう、雨水もしっかり貯める。
③ ダムで貯め込んだ水が減らないよう水位を高めに保つように配慮しますが、洪水が予測された場合は、洪水調節に支障がないように水位を下げる。

ダム貯水位運用曲線の例



3．少雪に伴う水利用への対応

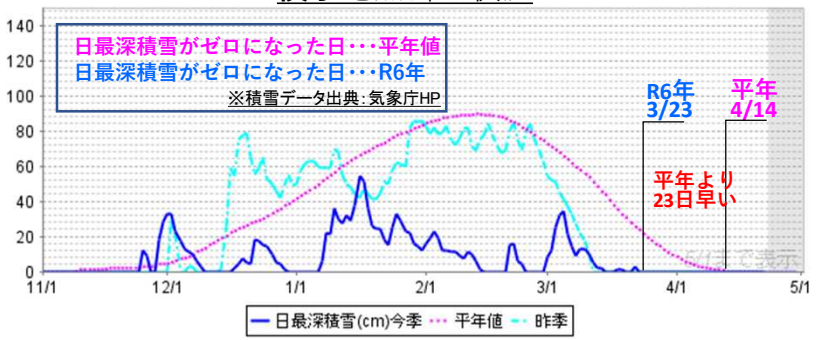
別紙３

➢ 春先の水利用を融雪に多く依存する以下の２地区において、農業用水が不足するおそれがあるため、渇水情報連絡会において情報共有を図りながら水利用の変更対応を行っている。

国営旭川農業水利事業（雄物川水系）

秋田県横手市にあるあいののダムでは、毎年予め川の水を引き入れて農業用水を蓄えていますが、今年は十分な雪解け水が期待できないことから、**取水期間を１ヶ月余り前倒し**して農業用水を確保します。

横手地点雪の状況　※気象庁積雪データを掲載



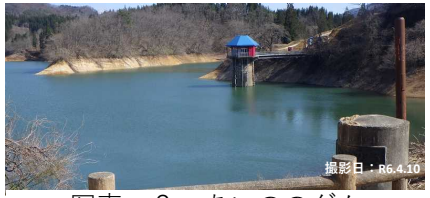
	4月			5月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
例年						
今年						

前倒し

図－１　取水期間



写真－１　取水状況



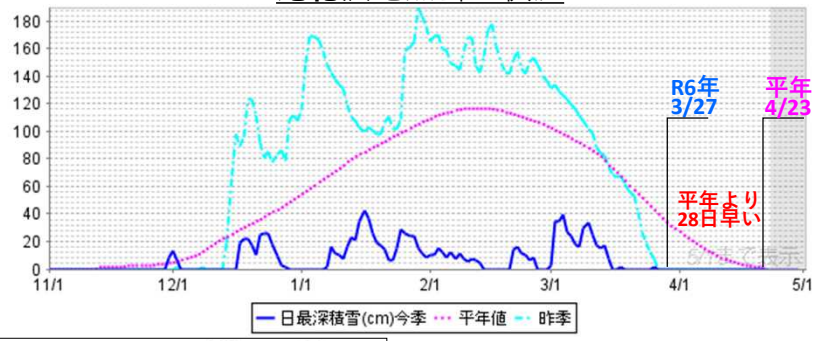
写真－２　あいののダム

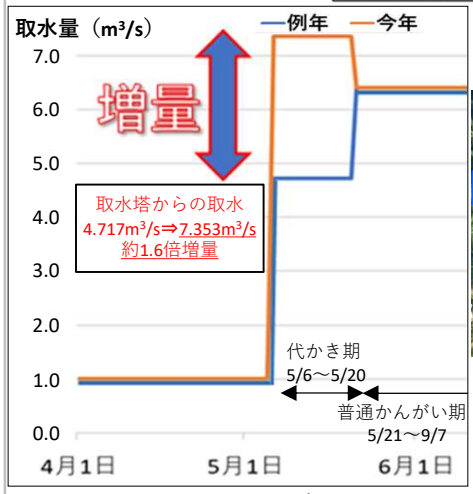
※4/4雄物川水系渇水情報連絡会にて情報共有

国営村山北部地区かんがい用水（最上川水系）

山形県尾花沢市にある新鶴子ダムでは、例年代かき期においてはダムが満水になり洪水吐から水が流れているが、今年は少雪により満水にならないおそれがあるため、洪水吐から流れない分を**取水塔から増量取水し**農業用水を確保します。

尾花沢地点雪の状況　※気象庁積雪データを掲載







図－２　取水量

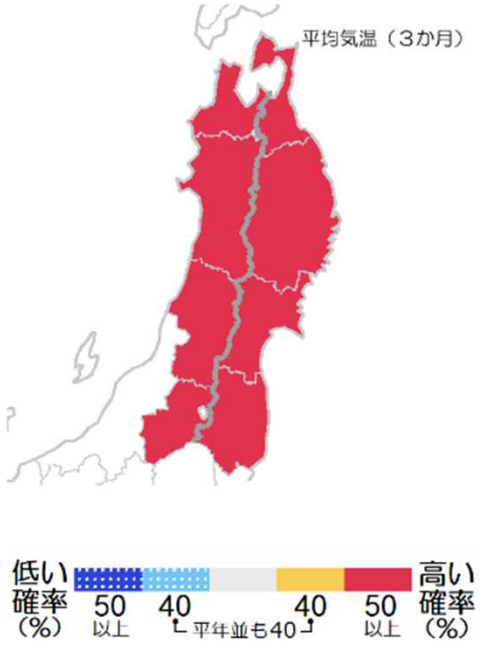
※4/24最上川水系渇水情報連絡会にて情報共有

4. 向こう３か月の天候の見通し　別紙４

➢ 向こう３か月（5月～7月）の天候の見通しは、気温は高く、降水量はほぼ平年並の見込み

東北地方 （05月～07月）

３か月の平均気温・降水量

		平均気温（３か月）	降水量（３か月）
東北	日本海側	低20 並30 高**50**% **高い**見込み	少30 並30 多**40**% **ほぼ平年並**の見込み
	太平洋側		少30 並30 多**40**% **ほぼ平年並**の見込み
数値は予想される出現確率（%）です			

出典：気象庁HP　令和6年4月23日公表（向こう3か月の天候の見通し）